



Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的で製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言またはその他の特許権上または特許上のいかなる方法によるかを問わず、Zebra 製品が使用された組み合わせ、システム、機材、マシン、マテリアル、メソッド、またはプロセスを対象として、もしくはこれらに関連して、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

Zebra および Zebra ヘッド グラフィックスは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

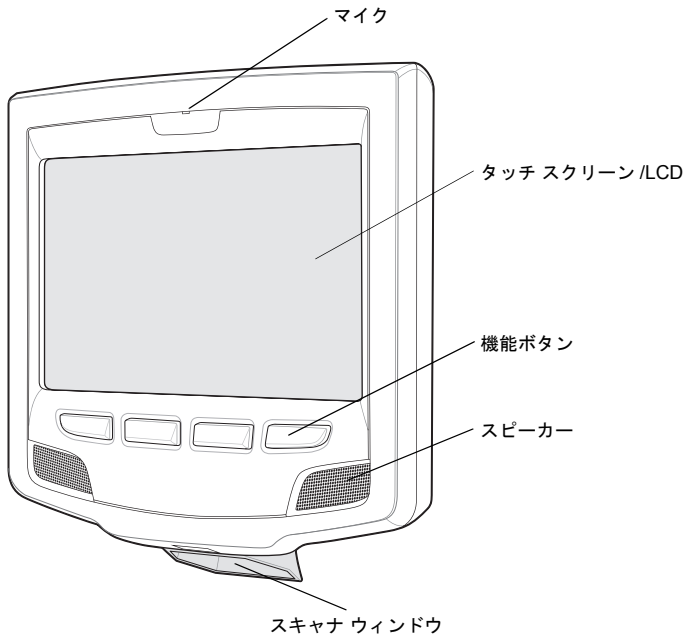
© 2017 ZIH Corp and/or its affiliates.All rights reserved.Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。



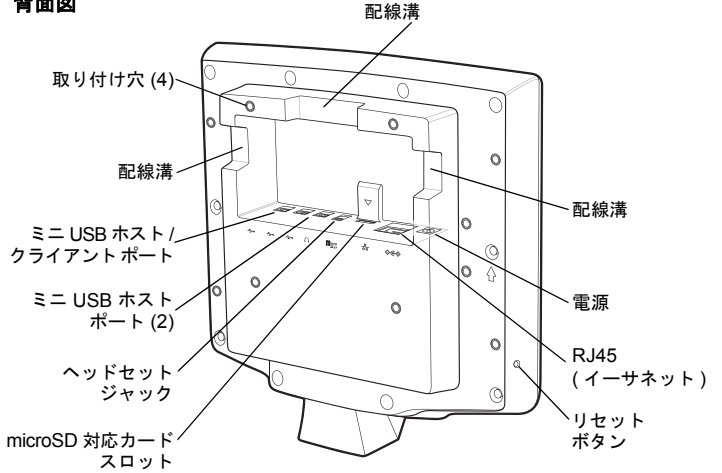
パッケージの開梱

箱から MK3100/3190 を取り出し、破損している機器がないかどうかを確認します。梱包材は保存しておいてください。これは承認された梱包材です。修理のために装置を返送するときには必ずこれを使用してください。

MK3100/3190 部品



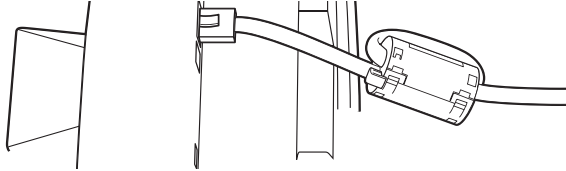
背面図



フェライト コアの取り付け

次のように、イーサネット ケーブル上にフェライト コア (部品番号 34.10P16.001) を取り付けてください。

- フェライト磁心を開き、ケーブル上に配置します。
- 一度、フェライトコアの外周にケーブルを巻きつけ、このフェライトコアを閉じます。



注：

- 標準の 10/100Mbps イーサネット ネットワークに対応している必要があります。
- Zebra 承認済みのミニ USB ケーブル (オプション) を使用してください。

取り付け

デバイスの取り付けには、標準の VESA マウントを使用します。

- 100mm VESA 仕様に準拠した VESA マウントを選択します。
- デバイスの取り付け用挿入部は M4 × 8.1 mm です。適切なネジのタイプを選択する場合は、ネジが取り付けプレートを通した後で、装置の背面ブラケットを 8.1 mm 以上、突き抜けないように注意してください。
- VESA 取り付け用の穴と、装置の背面にある取り付け用の穴の位置を揃えます。
- 揃えた 4 つの穴、それぞれにネジを挿入します。

衛生および安全に関する推奨事項

人間工学に基づく推奨事項

注意：人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生 / 安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすかなくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

規制に関する情報

このガイドはモデル番号 MK3100、MK3190 に適用されます。

無線に関するすべての情報は MK3190 にのみ適用されます。

Zebra の機器はすべて、販売地域の法令および規制に準拠するように設計されており、必要に応じてその旨を記載したラベルが貼付されています。

各地域言語の情報は、以下の弊社 Web サイトでご確認ください。

<http://www.zebra.com/support>

Zebra の機器に変更または改変を加えた場合、Zebra による明示的な承認がある場合を除き、その機器を操作するお客様の権限が無効になる場合があります。

Zebra 承認済みおよび UL 規格のアクセサリのみを使用してください。

定格最大動作温度は 40°C です。

無線モジュール

本機器には、承認済みの無線モジュールが含まれています。モジュールの名称は以下のとおりです。

Zebra 21-148603-0B RLAN & BT

無線機器に関する各国の承認

! 規制の承認を受けていない機器を操作することは違法です。

規制に関するマークは、使用する無線が、米国、カナダ、日本、中国、韓国、オーストラリア、ヨーロッパ¹での使用が承認されている無線機器に付けられています。

その他の国のマークについては、「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は、<http://www.zebra.com/doc> から入手できます。

注意¹: 2.4GHz または 5GHz 製品の場合、「ヨーロッパ」とは、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリスを指します。

各国におけるローミング

この機器には国際ローミング機能 (IEEE802.11d) が組み込まれます。この機能により、特定の国内で適切な通信チャネルを選択できるようになります。

アドホック通信 (5GHz 周波数帯)

アドホック通信で使用できるのは、チャンネル 36 ~ 48 (5150 ~ 5250 MHz) に制限されています。この周波数帯の使用は、室内のみに限定されています。その他の場所での使用は違法行為となります。

動作周波数 - FCC および IC

5GHz のみ

UNII (無免許で利用できる情報インフラ) の Band 1 (5150 ~ 5250 MHz) での使用は、室内での使用のみに制限されています。その他の場所での使用は違法行為となります。

Industry Canada 宣言：

注意：5150 ~ 5250MHz の周波数帯では、同一チャネルのモバイル サテライト システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために、この機器を屋内でのみ使用するようにしてください。高出力レーダーは、5250 ~ 5350MHz 周波数帯および 5650 ~ 5850MHz 周波数帯の一次ユーザー (優先順位が高い) として指定されており、LE-LAN 機器に干渉や損傷を起こす危険性があります。

Avertissement: Le dispositif fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz est réservé uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

Les utilisateurs de radars de haute puissance sont désignés utilisateurs principaux (c.-à-d., qu'ils ont la priorité) pour les bands 5250-5350 MHz et 5650-5850 MHz et que ces radars pourraient causer du brouillage et/ou des dommages aux dispositifs LAN-EL.

2.4 GHz のみ

米国内において 802.11 b/g の利用可能なチャンネルは 1 から 11 です。チャンネルの範囲はファームウェアにより制限されています。

! **無線機器の使用上の注意**

無線機器の使用に関わるすべての警告文をよくお読みください。

潜在的に危険な環境 - 車両の使用

燃料貯蔵所や化学製品工場、空气中に化学物質や粒子 (種子、ちり、金属粉など) を含む場所、または通常、自動車のエンジンを切るように義務付けられている場所では、無線機器の使用に関する規制に従う必要があります。

潜在的に危険な環境 - 固定式据え付け

燃料貯蔵所や化学製品工場、空气中に化学物質や粒子 (種子、ちり、金属粉など) を含む場所では、無線機器の使用に関する規制に従う必要があります。

航空機内での安全

空港または航空会社のスタッフの指示に従って、無線機器の電源を切ってください。お使いの機器に「フライト モード」などの機能が備わっている場合は、航空会社のスタッフにその旨を説明し、使用可能かどうかを確認してください。

!! **病院内での安全**

無線機器は無線周波エネルギーを発するため、医療機器に悪影響を与える可能性があります。

病院、クリニック、または医療施設の指示に従って、無線機器の電源を切ってください。このような指示は、電波の影響を受けやすい医療機器に対する干渉を防ぐためのものです。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、ハンドヘルドの無線機器とペースメーカーを 15cm 以上離すように提言しています。これは、Wireless Technology Research が独自に調査した推奨値とも一致しています。

ペースメーカーの使用者：

- 無線機器の電源が入っている場合は、常に、ペースメーカーから 15cm 以上離してください。
- 無線機器を胸ポケットに入れしないでください。
- ペースメーカーの誤作動の可能性を最小限にするため、ペースメーカー植え込み部位と反対側の耳で通話してください。
- 悪影響の可能性がある場合は、必ず無線機器の電源を切ってください。

その他の医療機器

担当医師または医療機器の製造業者に、お使いの無線機器が与える医療機器への悪影響についてご確認ください。

! **無線周波放射に関するガイドライン**

安全性に関する情報

無線周波放射の抑制 - 適切な使用

機器は必ず付属の手順書に従って操作してください。

北米以外

この機器は、無線機器から発生する電磁場人体がさらされた場合に関して、国際的に認知された標準値を満たしています。電磁場人体がさらされた場合の「国際的」情報については、Zebra の「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は <http://www.zebra.com/doc> から入手できます。

ヨーロッパ

EU の無線周波放射制限値に準拠するため、モバイル送信機は人体から 20 cm 以上離して使用してください。

配置場所に関する宣言

FCC の無線周波放射に関する制限に準拠するため、本送信機で使用されているアンテナは、他の送信機またはアンテナと同じ場所に配置したり組み合わせて動作させたりしてはなりません。ただし、本出願で承認されている場合を除きます。

遠隔設置および単体設置アンテナについて

FCC の無線周波放射制限値に準拠するため、遠隔地に設置されている外部アンテナ、または人体の近くの卓上に単体で設置されている外部アンテナは人体から 20 cm 以上離して使用してください。

